



平成 22 年 2 月 5 日

各 位

会社名 株式会社新日本建物  
 代表者名 代表取締役社長兼社長執行役員  
 壽松木 康晴  
 (JASDAQ・コード番号: 8893)  
 問合せ先 執行役員 管理本部長兼グループ経営企画部長  
 佐藤 啓明  
 (TEL. (03) 6205-0705)

## 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 3 月期通期決算におきまして、特別損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 10 月 30 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の通期の業績予想の修正についてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生について

連結子会社における店舗の閉鎖に伴い、平成 22 年 3 月期通期決算におきまして、固定資産除却損として約 60 百万円の特別損失を計上する見込みであります。

#### 2. 平成 22 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

##### (1) 修正の内容

##### 【連結】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,400	1,020	470	450	9円64銭
今回修正予想 (B)	23,700	△150	△650	△800	△17円14銭
増減額 (B-A)	△6,700	△1,170	△1,120	△1,250	—
増減率 (%)	△22.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期通期)	56,337	△16,420	△16,177	△18,909	△565円8銭

##### 【個別】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	27,300	1,220	740	540	11円57銭
今回修正予想 (B)	21,100	120	△330	△770	△16円50銭
増減額 (B-A)	△6,200	△1,100	△1,070	△1,310	—
増減率 (%)	△22.7	△90.2	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期通期)	48,480	△15,834	△15,649	△18,838	△562円95銭

## (2) 連結業績予想の修正理由

不動産市場において、土地価格の底打ちや住宅需要喚起のための各政策などにより、市況回復への兆しが表れている一方、金融環境は依然として良化しないことなどから、流動性が極めて低い状況が続いております。

今回の修正に関する売上高の主な要因は、当期から新規事業として推進しているマンション買取再販事業において、事業化対象案件を完成在庫から未完成在庫まで広げることで、ビジネスチャンスを大きく広げるとともに、当社の仕入・建築・販売の総合力を発揮して参入事業者のなかでの差別化を図り、展開しておりましたが、当期に引渡し可能な物件の仕入れが計画通り進捗しなかったことにより、199戸・55億円が減少する見込みであります。また、流動化事業において、一部の物件の販売・引渡しが翌期以降にずれ込んだことにより、8億円減少する見込みであることなどによるものであります。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の減少に伴い売上総利益が減少したことなどによるものであります。当期純利益につきましては、上述に加え、連結子会社における店舗の閉鎖に伴う固定資産除却損として約60百万円の特別損失を計上する見込みであり、これらにより業績予想を修正いたします。

## (3) 個別業績予想の修正理由

個別業績につきましても、上記と同様の理由から修正し、また、第4四半期会計期間において連結子会社の業績悪化を受け貸倒引当金繰入額1億40百万円を特別損失に追加計上する見込みであり、これらにより業績予想の修正をいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な条件に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上